第１回　CCVグループホーム　地域連携推進会議議事録

20250902

日時：令和７年８月29日（金）15：00～16：00

場所：NPO法人CCVグループホーム第二藤ハイツ105号室

1. 開会

CCVの本部（鳥居跡町）で、作成しているお菓子を食べながら。

1. 挨拶

出席者が集まったところで、名刺交換等挨拶、CCVグループホーム副所長の中尾から挨拶、出席者の紹介

（合）けあけあ　福田様、

地域の関係者　W様、

利用者家族　M様、

利用者　T様、

（有）ウィステリアエステート　斉藤様、

鹿沼市役所障がい福祉課　星野様

CCVグループホームサービス管理　島中

CCVグループホーム副所長　中尾

4，議題

（ア）地域連携推進会議について…スライドを提示しながら、開催の趣旨の説明。障害者総合支援法の中で、地域で障害の方が共に生きていくために福祉サービスのグループホームがどんなサービスを提供しているのかわかりづらい、不正や虐待防止等の理由、地域に開かれた福祉という観点から、年2回会議を開催することとなった。詳細は、厚生労働省のHPより

（イ）障害について…日々障害をお持ちの方との関わりを持っている方が少ないと思うので、現在GHを利用されている方の障害の説明をする。CCVグループホームでは、精神障害の方、知的障害の方を受け入れている。精神障害の方の特性について、①理解されにくい②疾患と障害を併せ持つ③障害の状態が固定されていない④誤解や偏見、差別が解消されていない。ひとつずつ説明をする。

本人の持っている疾患だけでなく、社会との障害（障壁）の部分をサポートする役割。就労がうまくいかない。就労の為に生活リズムの獲得。障害の変化に対応していく。精神障害の自己理解。社会に出ていくためのサポートの役割。ソーシャルインクルージョンの理念の基、ＣＣＶは地域づくりに寄与している。

（ウ）CCVグループホームの運営・経営状況について…資料を掲示して、ＧＨの職員体制、サービス時間、日勤、夕勤、夜勤体制。支援内容について、食事の提供、相談、通院同行、服薬管理、買物同行、余暇支援、行政手続きの支援、部屋の整理、清掃、片付け、洗濯など。資料を提示して、経営状況について説明。障害区分と報酬のアンバランスといった福祉制度が持つ課題の話や、避難訓練を実施した際の参加者の様子について報告。

（エ）・利用者の日常の様子…一日のスケジュール、就労状況の説明、食事の提供の状況、半年に一度のモニタリング。実際の個別支援計画を見ていただく。自主性の高いグループホームなので、関りが少ない方も多い。

5, 意見交換

Ｑ，本人が困った時、本人の状況をどこまでグループホームで把握しているのか？

Ａ，自立度の高い人が利用するGHのため、本人の自主性を重んじる観点からも、細かい部分までは把握していない。

Ｑ，どういう方が過ごしているのか、なにかあった時に、どう声をかけたらいいのか？

Ａ，「この人が“障害者”で、この人が“障害が無い人”ということは、個人情報の観点からいえない。」何か困った時には、まず大家さんに伝えて欲しい。大家さんにはGHの利用者が誰か伝えてある。もし利用者に該当すれば、その後ＧＨの職員が対応する。

Ｑ，年代は、どのくらいなのか？

Ａ，20代～50代。人数的には、20代～30代が7割。64歳以上になると、高齢サービスへの移行になることが多い。高齢になると、認知症なのか、障害なのか、見極めが必要。

Q，他の地域連携推進会議に参加したが、CCVでは、画面を用意して説明してくれたり、資料も提示してくれたり、他の事業所のお手本となるような会議だった。経営状況の説明もよかった。

このGHのような形態（一般の賃貸の物件とGHがある）を始めるにあたり、どのような話し合いがあったのか？どのように進めていったのか？

A,CCV理事長とウィステリアエステイトの斉藤社長が地域づくりに関心があり、上野町にあるCCVダック（生活介護）事業所移転にもご尽力いただき、病院、薬局、高齢施設など誘致した。誰もが使用できる「つつじガーデン」を設営したりCCVの理念「地域で生きる」を実践されている。斉藤社長に経営のアドバイスもいただきながら進めているところ、この第二藤ハイツでのGHの事業の話し合いを持つことができた。

Q,入居前に、現在住んでいる方に説明をどのようにしたのか？

A,特に、事前に説明はしなかった。「GHになります」の説明は、書面にてした。消防の工事も半ば強引に進めていった。現在住んでいる方に、特別な説明をするよりも、心配なことが起きた時に、真摯に対応していくことでご理解いただく。

Q,今後の構成員の計画があれば教えて欲しい。

A,できれば、このままのメンバーで進めていきたい。数年の変化について皆さんに把握して欲しい。

・大家さんより

その１…消防工事の必要があり、本人不在の部屋に入って工事をしなくてはいけなかった。工事をするのに家具の移動もあった。そんなとき、「熱い中工事ごくろうさま、どうぞエアコンを使ってください」と、部屋に置き手紙があった。とても感動した。自分でもこんな気配りができているだろうか？このような心配りを忘れていた。と感動した。

その２…休みの日に危機のトラブルで呼ばれた時に、「階段濡れています。足元気を付けてください」「お休みの日に本当にすみません。ありがとうございます」と何度も言ってくれた。機器のトラブルで大家が呼ばれるのは仕方がないことだと思っているが、こんなに丁寧にお礼を言われることは、多くはない。と感動した。

とても、みなさん素直な方で、偏見を持たず、社会との障害（障壁）私たちとの障壁関わることの苦労がある人ということを理解することが、こちら側にこそ大切と感じた。

グループホームの入居者さんを特別扱いせず、他の入居者さんは、特別に我慢することなく、なんでも伝えて欲しい。丁寧に伝えればわかってくれる人たちです。

6、施設訪問について

2026年2月を予定している。個別の居室は、本人の意向を聞いてから決定したい。

7，閉会

次回の地域連携推進会議は、2026年2月を予定している。